

【創育クリエートメールマガジン vol.21】[学園祭の楽しみ方]

2018.12.19 発行

日頃は格別のご愛顧を賜りまして、ありがとうございます。

本メールは、弊社、創育クリエートが送信元となり、森上教育研究所の協力のもと、教育業界に関するさまざまな情報をお届けするメールマガジン「創育クリエートメールマガジン」です。

なお、本メールは、日頃お付き合いのある、学校関係者様、企業ご担当者様、以前にお名刺を交換させていただいた方へお送りしています。

今回のテーマは「学園祭の楽しみ方」です。

ぜひ御愛読いただければ幸いです。

＝学園祭の楽しみ方＝

11月の連休で首都圏にある大学の学園祭シーズンも終わりを迎えました。今年、いずれかの大学の学園祭にいらっしゃいましたか？

大学の学園祭というと、歌手のコンサートやタレントの出演イベント、模擬店やステージ・パフォーマンスなどを思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。

学園祭では、こうした賑やかな光景とは別の一面を見ることがあり、そこに大学の魅力や実力が垣間見えます。

東京農業大学(以下農大)の学園祭は『収穫祭』として11月のはじめに行われます。行ってみたい学園祭ランキングでは早慶、東大に次ぐ堂々第4位。世田谷キャンパスでは、大根のチャリティー配布や同好会によるはちみつの販売など、恒例の人気イベントや即売会があって、毎年10万人あまりの来場者がある、人気の学園祭の1つです。

ここの模擬店の特徴は“グローバル”。32の国と地域からの留学生が学ぶ農大では、収穫祭において留学生が中心となって運営する模擬店が多くあり、それぞれのお国自慢の料理を食べることができます。こんなところも、近隣住民が毎年収穫祭を楽しみにしている理由の1つです。

収穫祭ではまた、研究発表の場も設けられています。一昨年は、ネリカ米に関する研究発表がありました。ネリカ米とはアフリカの食糧事情改善のために開発された稲の品種です。農大ではネリカ米の品種改良・栽培などの調査研究

が進められているそうです。オランダの施設園芸についての研究発表もありました。オランダの生産性の高い農業は、これからの日本の農業にとっても大いに学ぶべきところがあると注目されています。

収穫祭での様々な風景を見ていると、農大の「地に足の着いたグローバル化」というキーワードが浮かび上がってきます。

先日行われた東京大学駒場祭では、経済学部有志による「経済学研究の最前線」と題した研究発表がありました。マクロ経済学やミクロ経済学、計量経済学といった伝統的なテーマの他に、行動経済学などの昨今ホットなテーマの研究発表もあり、来場した高校生が、経済学の新たな魅力に目を輝かせていました。

模擬店やステージイベントを楽しむのもよいですが、高校生には、ぜひこうした学園祭のアカデミックなイベントにも触れてほしいものです。

来年の文化祭シーズンには、先生方も大学の学園祭に足を運び、大学の新たな顔を発見する機会をもってみてはいかがでしょうか。

(執筆：森上教育研究所アソシエイツ 高橋 真実)

いかがでしたでしょうか？

本メールマガジンの内容等についてのご意見、アドレス変更、配信停止については、

下記 E-mail アドレスよりご連絡をお願いいたします。

▽メルマガのバックナンバーは下記 URL よりご覧いただけます。

<http://www.soiku-c.co.jp/maimagazine.html>

■送信元：株式会社 創育クリエート

東京都港区西新橋 3-24-3 川名ビル

T E L . 03-5472-5772

【配信停止・お問い合わせ】

create@soiku-c.co.jp

■□□-----

▼創育クリエートHP▼

<http://www.soiku-c.co.jp/>

[事業内容]

広報ツール制作、WEB コミュニケーション、

教育メディア事業、広告代理、IT ソリューション

などの事業を展開しています。

■広報ツール制作

<http://www.soiku-c.co.jp/contents1.html>

■広告代理業

<http://www.soiku-c.co.jp/contents4.html>

■情報誌編集

<http://www.soiku-c.co.jp/contents3.html>

■WEB ページ制作

<http://www.soiku-c.co.jp/contents2.html>

■IT ソリューション

<http://www.soiku-c.co.jp/contents5.html>

[採用情報]

現在、外部パートナーを募集しています。

<http://www.soiku-c.co.jp/employment.html>

-----■□□

次回も皆さまにとって有益となるような教育情報のメールマガジンを配信できるよう努めて参りたいと思います。